

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	うじたわらっ子育てプロジェクト		実施期間	平成28年度～	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町の人口は平成17年の10,060人をピークに減少に転じ、労働力の減少や地域活力の低下、社会保障費の増加など様々な面での影響が懸念されている。 住民アンケート調査では、人口増加を求める意向が多く、若いファミリー層は児童施設や子育て支援の充実を望む声が多くなっている。このため、結婚や子どもを産み育てやすい環境整備に努める必要がある。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>「若い世代の希望をかなえ、元気なうじたわらっ子を育む」ため、出産や子育てに関する不安を解消する各種子育て支援制度を充実させるほか、英語教育など、特徴ある教育プログラムの実施により、子どもの可能性を伸ばす環境づくりを行うとともに、子どもや家族が気軽に集まることのできる交流の場を形成した。</p>							
	総事業費（千円）	54,709	本年度事業費（千円）	54,709	交付金額（千円）	18,224		
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
	育児用品購入助成事業	交付対象事業	乳児の子育てに係る保護者の経済的負担を軽減するため、おむつ等育児用品の購入費用を助成する。		○育児用品購入助成金 ・対象人数 59人			
	出産・子育てイベントスタンプラリー事業	交付対象事業	出産・子育てイベント参加者にスタンプカードを配布し、スタンプ数に応じて子育てグッズをプレゼントする。		○支給対象事業 10件 ○支給子育てグッズ ・ガーゼハンカチ 50個 ・缶バッジ 19個 ・チャック付ファイル 14個			
	もうすぐ1年生保育所体育教室実施事業	交付対象事業	町立保育所に通所する児童を対象に、就学前に体得しておきたい運動能力等について専門家による指導を行う。		○体育教室 ・開催回数 年間12回 ・実施内容 マット運動・器具運動・縄跳び・ボール運動			
	小中一貫教育推進事業	交付対象事業	小学校、中学校の義務教育9年間の一貫教育の推進を図る。		○小中一貫教育推進協議会開催 5回 ○小・中学校を総称する愛称「維孝館学園」を決定。 ○コーディネータ教員（英語科）の配置。			
	高校生通学費補助金	交付対象事業	保護者の経済的負担軽減と生徒の就学支援推進のため、高校等の通学に係る費用に対して補助を行う。		○高校生通学費補助金 ・補助件数 244件			
	学力充実事業（小・中学校）	交付対象事業	学力診断テストの実施やテスト結果の分析に基づくきめ細かい指導により、児童生徒の学力の充実を図る。		○補助教員配置 各校1人 計3人 ○学力診断テストの実施 ・田原小学校 226人 ・宇治田原小学校 227人 ・維孝館中学校 288人			
	特別支援教育充実事業	交付対象事業	発達障がいのある児童・生徒に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備等を行う。		○補助教員配置 各小学校に1人 計2人			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：宇治田原町

市町村 実施事業	通級指導教室運営事業	交付対象事業	田原小学校に通級指導教室を開設し、発達障がい等の児童に対する指導及び支援を行う。	○通級教室 ・担当教諭1名を配置 ・通級児童数21人（平成29年3月末時点） 田原小学校児童15人 宇治田原小学校児童6人
	学校の生活力向上支援事業（小・中学校）	交付対象事業	児童生徒が楽しく安定した学校生活を送れるようにするため、楽しい学校生活を送るためのアンケートを行う。	○アンケート実施 ・田原小学校 年2回 234人 ・宇治田原小学校 年2回 246人 ・維孝館中学校 年2回 550人
	英語力向上推進事業	交付対象事業	生徒の英語への意識向上と英語活用能力の向上のため、英語検定の受験を促進する。	○希望者に一人1回分の受検費用の支援を実施。 ・合格者数 2級 2名 準2級 12名 3級 27名 4級 70名 5級 59名
	宇治田原ふるさと文化賞実施事業	交付対象事業	児童・生徒の郷土愛を育むため、私たちの宇治田原をテーマにした「宇治田原ふるさと文化賞」を実施する。	・俳句応募人数 581人 ・俳句応募句数 1,293句
	こんにちは赤ちゃん絵本（ブックスタート）事業	交付対象事業	乳幼児をもつ親が子育てをしやすい環境をつくれるよう、読み聞かせやファーストブックのプレゼントを行う。	○乳児後期健康診断で絵本と茶っぴー布バッグをプレゼント 全4回 53組
	「うじたわらの日」学校給食推進事業	交付対象事業	本町の行事や記念となる日を「うじたわらの日」と位置づけ、宇治田原産の食材等を使用した給食を提供する。	○「うじたわらの日」実施回数 年3回
	みんなで食べよう！ふれあい給食開催事業	交付対象事業	学校、家庭、地域が連携して子どもの食育を推進するため、お茶を使った献立「茶っぴーランチ」を提供する。	○「茶っぴーランチ試食会」参加人数 245人
	学校施設環境整備事業（小・中学校）	交付対象事業	教育環境の改善と安全性を確保するため、経年劣化等がみられる学校施設の改修等を実施。	○学校施設の整備改修 ・田原小学校 6件 ・宇治田原小学校 2件 ・維孝館中学校 3件
	一時保育施設等整備事業	交付対象事業	保護者ニーズに応えるため、保育所敷地内に保育施設を増築し、一時保育室等の保育スペースを確保。	○保育園舎の建物設計業務委託を実施。 ・木造平屋建て 130㎡程度 ・一時保育室（定員10名） ・乳幼児用トイレ、収納スペースの確保

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：宇治田原町

子育て支援医療費支給事業	関連事業	出生から中学校修了までの子どもを対象に医療費の助成を行い、安心して子どもを育てる環境を整備する。	○出生から中学校終了までの医療費助成 ・年度末受給者数 1,111人 ・府制度のみ（満3歳未満） 161人 ・府制度と町制度 950人
子育てサービス利用支援事業	関連事業	子育て家庭の支援強化を図るため、教育・保育施設等の利用にあたって専門職員が助言、利用支援を行う。	○専任職員の相談件数 ・子育て 11件 ・発達 5件 ・保育施設 2件 ・その他 14件 合計32件
地域子育て支援センター拡張移設事業	関連事業	地域子育て支援センターを町立保育所から旧宇治田原町診療所に移設し、機能拡充を図る。	○1階診察室等を子育て支援センター室に改修。 ○プレイルーム、タイルカーペット敷き、子ども用手洗いの新設。
不妊治療給付事業	関連事業	経済的負担の軽減を図るため、不妊治療を受けている夫婦等に費用の一部を助成する。	○不妊治療助成件数 ・一般不妊治療 17人
ハッピー・マタニティ支援事業	関連事業	妊婦の健康確保及び経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査に必要な費用を助成する。	○妊婦健康診査費用助成件数 ・申請者数 51人
母子保健事業	関連事業	乳幼児と母親の健康増進を図るため、保健指導や乳幼児健康診査、乳児家庭訪問等を行う。	○マタニティ事業 ・ハイリスク妊婦訪問 4件 ○新生児訪問 ・訪問児数 48件 ○乳幼児健康診査事業 ・乳幼児～三歳児 228件 ○乳幼児相談事業 ・健康相談・発達相談 103件 ○訪問指導 188件 ○離乳食教室 20件
外国人青年招致事業	関連事業	英語指導助手を配置し、児童生徒が英語や異文化に触れることによりグローバル社会への適応力を培う。	○英語指導助手（ALT）の配置 ・ALTの配置人数 2人 ・指導実績 中学校 193日 小学校 97日 保育所 12日 幼稚園 11日
幼稚園教育振興事業	関連事業	私立幼稚園に在籍する園児の保護者に対して入園料及び保育料の支援を行う。	○就園奨励費補助件数 ・幼稚園就園奨励費 77件 ・町独自補助分 23件 ・町内私立幼稚園健康診断補助金 1件 ・京都府第3子以降保育料無償化事業 5件

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：宇治田原町

	本に親しみ豊かな心を育む図書整備事業（小・中）	関連事業	学校図書室に図書館司書等を配置し、児童の読書活動を促進する。	○学校図書館司書配置 各小中学校1人ずつ 計3人	
	放課後児童健全育成事業	関連事業	児童の健全な育成を図るため、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、遊びや生活の場を提供する。	○子ども教室「学び茶ろん」 ・実施回数 年間23回 ・参加児童 田原小学校 延べ631人 宇治田原小学校 延べ807人	
住民協働事業	少子化対策推進事業	交付対象事業	婚活支援事業をはじめ、関係機関・団体と連携し、子育てしやすいまちを目指した少子化対策事業を行う。	○少子化対策プロジェクト ・町職員と町内企業社員間の若手の人材交流事業 年3回 ・ポジティブキャンペーン 町広報誌に掲載 年4回 ・婚活応援講演会 参加人数 72名 ・婚活イベント実施団体に補助金交付 1団体	
	児童遊園整備等事業	交付対象事業	子どもたちが地域で安心して遊ぶことができるよう、児童遊園の適切な管理及び整備を行う。	○児童遊園の保守点検及び遊具修繕 ・保守点検箇所 24箇所	
	茶の里っ子を育む学習事業（小・中）	関連事業	伝統文化や産業に関する知識を高め、宇治田原に誇りと愛着心を持つ子どもたちを育成するため、お茶等に関する学習を行う。	○茶検定の実施 ・3級合格者 77人 ・2級合格者 77人 ○総合的な学習時間にて社会人講師を招き、茶摘み体験、茶香服を実施。	
	病児・病後児保育事業	関連事業	広域連携により行う医療機関内での病児・病後児保育及び町立保育所での施設整備を行う。	○病児・病後児型及び体調不良児型病後児保育事業を実施。 ・病児・病後児型利用延べ人数 8人 ・体調不良児型利用延べ人数 283人	
	「うじたわら学び塾」運営事業	関連事業	教職員退職者や大学生等の指導による小・中学生対象の学び塾を設置・運営する。	○寺子屋「うじたわら学び塾」の開講。 ・夏季事業 12講座 延べ参加者411人 ・冬季事業 5講座 延べ参加者202人	
成果指標①	成果指標の目標数値	出生数(年間) : 61人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	出生数(年間) : 47人(平成28年度)
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	少子化対策はまちの将来のために喫緊の課題となっており、様々な施策を強化しているところであるが、それ以上に社会全体の少子化が進んでおり、出生者数が目標値に達しなかった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標	成果指標の目標数値	保育所待機児童数 : 0人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	保育所待機児童数 : 0人(平成28年度)
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	町立保育所では待機児童が0人が続いており、児童を受け入れる状況は整っている。本町の人口との兼ね合いもあるが、今後とも待機児童数を出さないように取り組んでいく。	

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：宇治田原町

②	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	「若い世代の希望をかなえ、元気なうじたわらっ子を育む」ため、上記事業を展開し、子育てに関する事業が充実してきた。しかし、全国的な課題である少子化の流れを解決できる施策であるとは言い難く、今後、少子化対策のための事業を創意工夫する必要がある。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。		
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	みらい戦略一括交付金を活用した事業と町の単独事業とを組み合わせ、プロジェクトとして一体的に推進することで、上記目標に繋がる成果をあげることができた。	
	府と市町村等との連携に資する成果		
	住民の自治意識を高める成果	少子化対策プロジェクトチームを結成し、町内の事業所と意見交換や交流を深めることで、少子化に対する課題を発見することができた。	
	リーディング・モデル成果		
	広域的波及成果		
	行財政改革に資する成果		
	その他の成果	学校施設及び児童遊具などの設備の老朽化が進んでおり、子どもが安心して遊べる環境を整備することができた。	

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。